

下山小学校のヤマザクラ

＜概要＞

員 数	1 樹
樹 齢	推定樹齢 300 年

ヤマザクラは、バラ科サクラ属に分類される落葉高木で、開花時期は4月上旬から中旬頃である。開花と同時に赤紫色の新芽が展葉する。

今回指定するヤマザクラは、岡崎市立下山小学校に所在する。標高 340m、山間部の小学校校舎南側の校庭で生育している。樹高 8.57m、幹回り 4.0m、胸高直径 1.4 m、枝張り東西 13.0m、南北 12.0mと、県内でも有数の規模をもつ堂々たる巨木であり、岡崎市の天然記念物に指定されている。

地元では、天然に自生する樹木が現在地周辺に数本移植されたものの1本で、明治5年に小学校が建設される以前から既に存在していたと伝えられている。樹齢 300年と推定される古木で、県内に所在するヤマザクラの古木と比較しても最も古い部類といえる。

地域住民による適切な保全活動と管理が継続して行われ、花付きや樹勢も旺盛である。現状では、本樹の生育にとって障害となる事象は確認されていないが、過去には樹勢が衰退し、枯死寸前まで至ったことがあり、その際には地元有志の尽力により再生させることができた。こうした経緯も踏まえ、今後も樹勢を弱らせないための定期的な生育環境の保全作業が必要である。

日常管理は、地元住民を中心に行われており、ヤマザクラの樹皮に付着したコケの除去作業、伸長した枝を支えるための支柱や根の保護のための柵の設置、周辺清掃などの作業が行われている。毎年春の開花時期には、住民や小学校の卒業生等も参加する「山桜を愛でる会」が開催されるなど、地元の保護意識は高い。

また、小学校の敷地内に古くから存在する樹木を天然記念物として指定することで、児童に対する自然保護意識の啓発や、文化財及び地域の歴史・風土に対する理解を深める一助となることが期待される。



ヤマザクラの全景



ヤマザクラの花

(岡崎市教育委員会提供)